

こんにちは 野々市市議会です

12月定例会議案審議・議決結果一覧2P
野々市市議会生中継のお知らせ3P
12月定例会一般質問 10人が登壇4P
視察報告14P
議会報告会開催のお知らせ・	
3月定例会日程16P

※左義長・下林さくら公園（1月13日）

撮影：議会広報委員会メンバー（撮影の了解を得ています）

インターネットで 議会の様子を生中継しています

野々市市議会では、令和5年12月定例会から、インターネット動画配信サイトYouTube（ユーチューブ）により、議会の様子を生中継しています。

傍聴に行けないという人も、パソコン、スマートフォン、タブレットなどで、一般質問や議案審議などの様子をリアルタイムでご覧いただけます。

生中継のほか、録画配信も行っておりますので、ぜひご覧ください。

野々市市議会

検索

野々市市議会公式
YouTube チャンネル

・野々市市議会公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/@user-zw6gv1we8j>

※生中継の日程は、16 ページの「3月定例会の予定」をご覧ください。



採択された意見書

建設業の除雪作業における
時間外労働の取扱いに関する
意見書

除雪業務における時間外労働の
上限規制の適応除外について
は、国が管轄する各自治体の労働
基準監督署において、都道府
県単位での統一的な雪害基準を
明確にし、適切な指導等を行う
こと。

公立小・中学校の体育館の
空調設備への財政支援拡充
を求める意見書

公立小・中学校の体育館におい
て空調設備の整備が進むよう、
体育館の改築補助を含めた十分
な財源の継続的な確保を図ると
ともに、補助率及び補助単価を
引き上げること。

人事

人権擁護委員

岡田外志枝（堀内三丁目）

池田千可子（新庄三丁目）

新美 静香（扇が丘）

西川 久栄（野代二丁目）

議会組織変更のお知らせ

◆議会運営委員会

委員 小堀 孝史

◆予算決算常任委員会

委員長 安原 透

◆スポーツ施設等

特別委員会

委員長 中村 義彦

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業

12月
定例会

住民税非課税世帯に7万円支給

令和5年第5回12月定例会は、11月29日から12月18日まで開かれました。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業の、住民税非課税世帯（約4,300世帯）に1世帯あたり7万円を支給する「物価高騰支援給付金」や、9月定例会で議決した中学生以下（約8,700人）を対象とした「野々市市子育て世帯物価高騰対策給付金」の支給額を1万円増額し合計2万円を支給するための事業費などのほか、野々市市立中央保育園敷地内に「（仮称）のいち子育てステーション」を整備することに伴う旧館部分解体費用の債務負担行為などを含む一般会計補正予算案、人事院勧告による職員（会計年度任用職員含む）の給与を増額するための条例の一部を改正する条例案などを全会一致で可決しました。

議決結果一覧

○=賛成、×=反対、欠=欠席 ※議長（北村 大助）は採決に加わりません。

番 号	件 名	議 決 日	議 決 結 果	三 納	木 谷	中 村	西 村	田 中	畠 中	梅 野	朝 倉	小 堀	向 田	北 村	安 原	西 本	中 村	岩 見
議案第65号	令和5年度野々市市一般会計補正予算（第5号）について	11月29日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第66号	令和5年度野々市市一般会計補正予算（第6号）について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第67号	令和5年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第68号	令和5年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第69号	令和5年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第70号	令和5年度野々市市墓地特別会計補正予算（第1号）について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第71号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第72号	野々市市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第73号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第74号	野々市市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第75号	野々市市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第76号	野々市市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第77号	野々市市道路占用料条例の一部を改正する条例について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第78号	野々市市都市公園条例の一部を改正する条例について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第79号	公の施設に係る指定管理者の指定について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第80号	市道路線の廃止について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第81号	市道路線の認定について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第82号	野々市市の区域内で白山市長が市道を認定することの承諾について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
議案第83号	野々市市手数料条例の一部を改正する条例について	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	11月29日	適 任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
諮問第3号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	11月29日	適 任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
諮問第4号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	11月29日	適 任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
諮問第5号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	11月29日	適 任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議会議案第5号	建設業の除雪作業における時間外労働の取扱いに関する意見書	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	×
議会議案第6号	公立小・中学校の体育館の空調設備への財政支援拡充を求める意見書	12月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	○	○	○	○



安原 透 議員
(野々市フォーラム)

本市カーボンニュートラル市民に向けた実行の為に 取組み、急速充電スポットの設置について伺う

実現を目指すには、まず自動車からの排出を大幅な削減が不可欠である
充電スポットのことについて具体的な検討を進めていきたいと考えている

Q 「地域の福祉施設との連携による防災力向上」を目指すために、積極的に自主防災会と社会福祉施設の双方に働きかけを行い地域と施設相互の連携強化による「共助」の体制づくりを推進すべきである。本市の所見を伺う。

A 市長 ●本市としても、このような共助の体制づくりは重要であると考えているので、今後、社会福祉法人をはじめ、様々な機関に対し、このような事例を紹介するなど積極的に働きかけを行っていき

Q 自主防災組織が積極的に訓練を出来るように「訓練の補助金」を創設し、避難訓練や防災に関する取組みについて積極的に実施が出来る体制を作るべきである。考えを伺う。

A 市長 ●今後も自主防災組織または地域の皆様から様々な支援策、訓練の在り方も含め、支援策ということについても御意見をいただきながら検討をしてまいりたい。

Q 本市防災次期5か年計画に向けて

A 市長 ●敷地確保は重要な要素である。本市は、不動産の流通性や流動性が高く、不動産業者からの物件情報、市内巡回による空

Q 企業誘致に必要な敷地確保のための調査・検討の実施について伺う。

A 市長 ●敷地確保は重要な要素である。本市は、不動産の流通性や流動性が高く、不動産業者からの物件情報、市内巡回による空

Q 安全で安心なオーガニック食材を取り入れた学校給食を実現する為、準備のための議論を推進すべきである。本市の所見を伺う。

A 市長 ●オーガニック食材を使うことは、環境に負担が少なく、健全な自然環境や社会環境が実現するもので、全国的に見ても先進的に導入している自治体もあるのは承知している。一方、本市の小学校、中学校の給食として実施する場合は、安定的な食材が必要となるので、野々市農業協同組合などの各種団体と連携しながら、慎重に協議、検討を行ってまいりたい。

Q 農業生産者数及び市内耕地面積の減少による、地場産食材の量的確保の現状の課題を踏まえ、オーガニック食材の量的確保の課題について本市の所見を伺う。

A 市長 ●本市では今年度から県と連携して、小中学校の給食に化学料や化学農薬の使用量をそれぞれ5割以上削減し、自然由来の肥料を組み合わせて栽培された特

Q 安全で安心なオーガニック食材を取り入れた学校給食を実現する為、準備のための議論を推進すべきである。本市の所見を伺う。

A 市長 ●オーガニック食材を使うことは、環境に負担が少なく、健全な自然環境や社会環境が実現するもので、全国的に見ても先進的に導入している自治体もあるのは承知している。一方、本市の小学校、中学校の給食として実施する場合は、安定的な食材が必要となるので、野々市農業協同組合などの各種団体と連携しながら、慎重に協議、検討を行ってまいりたい。

Q 安全で安心なオーガニック食材を取り入れた学校給食を実現する為、準備のための議論を推進すべきである。本市の所見を伺う。

A 市長 ●オーガニック食材を使うことは、環境に負担が少なく、健全な自然環境や社会環境が実現するもので、全国的に見ても先進的に導入している自治体もあるのは承知している。一方、本市の小学校、中学校の給食として実施する場合は、安定的な食材が必要となるので、野々市農業協同組合などの各種団体と連携しながら、慎重に協議、検討を行ってまいりたい。

Q 安全で安心なオーガニック食材を取り入れた学校給食を実現する為、準備のための議論を推進すべきである。本市の所見を伺う。

A 市長 ●オーガニック食材を使うことは、環境に負担が少なく、健全な自然環境や社会環境が実現するもので、全国的に見ても先進的に導入している自治体もあるのは承知している。一方、本市の小学校、中学校の給食として実施する場合は、安定的な食材が必要となるので、野々市農業協同組合などの各種団体と連携しながら、慎重に協議、検討を行ってまいりたい。

Q 安全で安心なオーガニック食材を取り入れた学校給食を実現する為、準備のための議論を推進すべきである。本市の所見を伺う。

A 市長 ●オーガニック食材を使うことは、環境に負担が少なく、健全な自然環境や社会環境が実現するもので、全国的に見ても先進的に導入している自治体もあるのは承知している。一方、本市の小学校、中学校の給食として実施する場合は、安定的な食材が必要となるので、野々市農業協同組合などの各種団体と連携しながら、慎重に協議、検討を行ってまいりたい。

Q 安全で安心なオーガニック食材を取り入れた学校給食を実現する為、準備のための議論を推進すべきである。本市の所見を伺う。

A 市長 ●オーガニック食材を使うことは、環境に負担が少なく、健全な自然環境や社会環境が実現するもので、全国的に見ても先進的に導入している自治体もあるのは承知している。一方、本市の小学校、中学校の給食として実施する場合は、安定的な食材が必要となるので、野々市農業協同組合などの各種団体と連携しながら、慎重に協議、検討を行ってまいりたい。

Q 安全で安心なオーガニック食材を取り入れた学校給食を実現する為、準備のための議論を推進すべきである。本市の所見を伺う。

A 市長 ●オーガニック食材を使うことは、環境に負担が少なく、健全な自然環境や社会環境が実現するもので、全国的に見ても先進的に導入している自治体もあるのは承知している。一方、本市の小学校、中学校の給食として実施する場合は、安定的な食材が必要となるので、野々市農業協同組合などの各種団体と連携しながら、慎重に協議、検討を行ってまいりたい。



西村 雅博 議員
(あおばの会)

企業誘致の実績を問う

企業敷地確保のための調査・検討を

Q 本市におけるこれまでの企業誘致の実績について伺う。

A 市長 ●これまでソフトウェア業などの特殊業種や本社機能施設の立地を促す補助制度、固定資産税の特例制度の支援を行い、商工会、金融機関と連携し、各種交流会や企業面談を行い誘致活動を行った。



企業団地のイメージ

Q 企業誘致に必要な敷地確保のための調査・検討の実施について伺う。

A 市長 ●敷地確保は重要な要素である。本市は、不動産の流通性や流動性が高く、不動産業者からの物件情報、市内巡回による空

Q 本市におけるこれまでの企業誘致の実績について伺う。

A 市長 ●これまでソフトウェア業などの特殊業種や本社機能施設の立地を促す補助制度、固定資産税の特例制度の支援を行い、商工会、金融機関と連携し、各種交流会や企業面談を行い誘致活動を行った。



耐震化されていないため
倒壊した建物

Q 本市では、耐震診断に要する費用の4分の3、限度額12万円と、耐震改修工事に要する費用、限度額150万円を補助する制度等がある。今年度の実績、周知方法の改善策、耐震促進計画に関する市長の考え方を伺う。

A 建設部長 ●今年度申請はない。県や県内市町と連携し、相談会の実施、新聞、広報紙、野々市防災総合訓練での講習会を実施している。引き続き市民への周知に取り組む。

Q 本市では、耐震診断に要する費用の4分の3、限度額12万円と、耐震改修工事に要する費用、限度額150万円を補助する制度等がある。今年度の実績、周知方法の改善策、耐震促進計画に関する市長の考え方を伺う。

A 建設部長 ●今年度申請はない。県や県内市町と連携し、相談会の実施、新聞、広報紙、野々市防災総合訓練での講習会を実施している。引き続き市民への周知に取り組む。

Q 本市では、耐震診断に要する費用の4分の3、限度額12万円と、耐震改修工事に要する費用、限度額150万円を補助する制度等がある。今年度の実績、周知方法の改善策、耐震促進計画に関する市長の考え方を伺う。

A 建設部長 ●今年度申請はない。県や県内市町と連携し、相談会の実施、新聞、広報紙、野々市防災総合訓練での講習会を実施している。引き続き市民への周知に取り組む。

Q 市役所本庁舎内における公衆無線LANの導入について伺う。

A 総務部長 ●市内で導入済みは、業務用ネットワークと分離する必要があり、十分なセキュリティ対策が必要となる。今後更に検討を進める。

Q 市役所本庁舎内における公衆無線LANの導入について伺う。

A 総務部長 ●市内で導入済みは、業務用ネットワークと分離する必要があり、十分なセキュリティ対策が必要となる。今後更に検討を進める。

Q 市役所本庁舎内における公衆無線LANの導入について伺う。

A 総務部長 ●市内で導入済みは、業務用ネットワークと分離する必要があり、十分なセキュリティ対策が必要となる。今後更に検討を進める。

Q 市役所本庁舎内における公衆無線LANの導入について伺う。

A 総務部長 ●市内で導入済みは、業務用ネットワークと分離する必要があり、十分なセキュリティ対策が必要となる。今後更に検討を進める。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 https://youtu.be/-VBS_9moCdk

一般質問のページは、各議員の

文責により編集されています。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 https://youtu.be/BINRhHiB8_Y

一般質問のページは、各議員の

文責により編集されています。

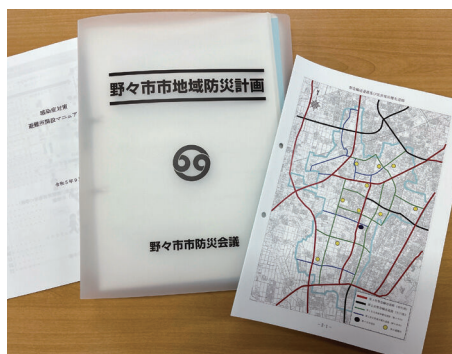


三納 昭博 議員
(野々市フォーラム)

生活困窮における相談体制の周知と 相談できる環境づくりを

福祉連携調整室をはじめ各相談機関 で周知・支援体制の強化に努める

- Q** コロナ禍での「市インフルエンザ等対策行動計画」により策定された「感染症対策避難所マニュアル」で行われている避難訓練においての問題点、および今後のマニュアル等の見直しは。
- A** 市長 ● 避難所の受付時において、健康チェックや問診票記入に時間を要し混雑した。今後、簡略化で改善を図るなど、マニュアルや防災計画の見直しを進める。
- Q** 福祉避難所を増やすとした計画の進捗状況は。
- A** 市長 ● 市内7か所の福祉施設より協力をいただけると回答をいただいた。今後も各福祉施設にご協力をお願いして行きたい。



野々市市地域防災計画について

- Q** 子どもを守るための初動対応について
- A** 市長 ● 市内7か所の福祉施設より協力をいただけると回答をいただいた。今後も各福祉施設にご協力をお願いして行きたい。
- Q** 市職員数および職員配置について
- A** 副市長 ● 正規職員の負担を減らすよう、会計年度任用職員の職務内容や職責を検討する。また、正規職員の欠員の対応として、臨時的任用職員を含め対応、検討する。
- Q** 市職員数および職員配置について
- A** 副市長 ● 正規職員の負担を減らすよう、会計年度任用職員の職務内容や職責を検討する。また、正規職員の欠員の対応として、臨時的任用職員を含め対応、検討する。
- Q** 市職員数および職員配置について
- A** 副市長 ● 正規職員の負担を減らすよう、会計年度任用職員の職務内容や職責を検討する。また、正規職員の欠員の対応として、臨時的任用職員を含め対応、検討する。

- Q** 子どもを守るための初動対応について
- A** 市長 ● 市内7か所の福祉施設より協力をいただけると回答をいただいた。今後も各福祉施設にご協力をお願いして行きたい。
- Q** 市職員数および職員配置について
- A** 副市長 ● 正規職員の負担を減らすよう、会計年度任用職員の職務内容や職責を検討する。また、正規職員の欠員の対応として、臨時的任用職員を含め対応、検討する。
- Q** 市職員数および職員配置について
- A** 副市長 ● 正規職員の負担を減らすよう、会計年度任用職員の職務内容や職責を検討する。また、正規職員の欠員の対応として、臨時的任用職員を含め対応、検討する。
- Q** 市職員数および職員配置について
- A** 副市長 ● 正規職員の負担を減らすよう、会計年度任用職員の職務内容や職責を検討する。また、正規職員の欠員の対応として、臨時的任用職員を含め対応、検討する。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/Cxww8jFxF3c>

一般質問のページは、各議員の
文責により編集されています。



梅野 智恵子 議員
(みのりの会)

「地域じょんから節」を市の無形民俗文化財に指定することを提案する

地元への聞き取りを行うなど、しっかりと した調査研究を進める

- Q** 本市の伝統芸能と保存継承について
- A** 市長 ● 郷土芸能の保存や継承に向けて、地域で後継者を育成していくためには、子供の頃から文化や芸術に親しむ機会を提供し、すそ野を拡大する必要があると考えており、学生対象に若い世代が郷土芸能に触れ、感じる機会の確保に努めている。今後も引き続き支援に努めてまいりたいと考えている。
- Q** 本市の伝統芸能、地域踊りに関してどのような印象と認識であるか。市長の思いを伺う。
- A** 市長 ● 本市の「地域踊り」と言われる「御経塚じょんから」や「富奥じょんから」は一度途絶えたものの、町内会有志の方々の深い思い入れにより復興し、その後保存会が設立されるなど、現在も地域の方々のご尽力で継承されている郷土芸能であると認識している。本市におきましては、7件の市指定無



(上) 野々市デジタル資料館HP
(左上) 富奥じょんから
(左下) 御経塚じょんから



形民俗文化財をはじめ、「御経塚じょんから」「富奥じょんから」といった郷土芸能については、教育委員会が開設している野々市市デジタル資料館において映像資料を公開するなど後世へ伝えていくべき貴重な歴史遺産であると思っている。

- Q** 学校公開とコミュニティスクールについて
- A** 教育長 ● 学校公開や授業参観等の学校行事は地域に開かれた学校づくりの場として大切な役割である。今後も地域の皆様には学校だよりや学校ホームページでご確認いただきご来校いただきたい。
- Q** コミュニティスクールが発足して2年になるが成果と今後の課題、展望を伺う。
- A** 教育長 ● 成果としては、学校運営協議会委員に子どもの様子を実際にみていただき、学校と地域の連携が深まった。また地域ボランティアの皆様のご協力により教員にとって業務負担が軽減された。課題は学校ニーズとボランティア登録者の時間や分野に若干ずれも生じること。今後の展望として市内の企業、団体の皆様の専門的な知識をお借りして質の高い教育を実現してまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/-meYoFH1Frc>

一般質問のページは、各議員の
文責により編集されています。



西本 政之 議員

学校体育館の空調設備の整備を急げ

国の補助金などの活用を視野に、事業実施の検討をしていきたい

- Q** 近年、日本の気候が亜熱帯化しているという方がいるほどで、特に今年の夏の暑さは異常だった。そのような環境で、体育館でスポーツをする子供達の健康が心配だ。また、体育館は有事の際には避難所の役割を担うことから、高齢避難者の命にも関わる。早急に体育館の空調設備の整備が必要と考える。見解を伺う。
- A** 教育長 ● 学校体育館は、児童生徒の運動の場として、また、災害時には避難者の安全を守る場として、その役割は大変重要であると認識している。学校体育館のエアコン設置については、財源確保が必要であるため、国の補助金や緊急防災・減災事業費などの活用を視野に、事業実施の検討を重ねていきたい。
- Q** 小学校の遊具について
- A** 教育部長 ● 小学校遊具は、児童の心身の発達に欠かせない。遊具が立ち入りを規制されている。外で友達と遊ぶ事も教育の一つなので、春には使えるように整備すべきと考えるがいかがか。

- Q** 特別支援教室について
- A** 教育長 ● 特別支援学級では、異学年で構成されることが多いことや、一人一人への支援も多様であることから、担任が一人で適切な支援を継続的に行うことは、非常に難しい状況であることを理解している。引き続き、国への定数改善の要望を行うと同時に、支援員の増員を含め、学校への支援内容を検討していく。
- Q** 8人の児童・生徒を1人の教職員が担任している学校がある。国の基準とは言え、かなり負担が大きい。人的支援を行うべきと考えるがいかがか。
- A** 教育長 ● 特別支援学級では、異学年で構成されることが多いことや、一人一人への支援も多様であることから、担任が一人で適切な支援を継続的に行うことは、非常に難しい状況であることを理解している。引き続き、国への定数改善の要望を行うと同時に、支援員の増員を含め、学校への支援内容を検討していく。

- Q** 児童数が増加している。北部にもう一校小学校が必要であると声が上がっている。校区の見直しと合わせて見解を伺う。
- A** 市長 ● 野々市小学校の児童数は、令和6年度をピークに減少傾向に転じる見込みとなっている。従って、直ちに新しい小学校の建設や校区の見直しをしなければならない状況ではないと考えている。
- Q** 野々市市男女共同参画推進条例について
- A** 市長 ● 約20年前に作られた条例であり、女性と男性に加えて、多様な性を含めた題名の変更及び、条文の修正の時期にきていると考えるがいかがか。
- A** 市長 ● 現代社会において、多様な性を重視し、包括的な共同参画を推進することは、避けて通れない課題となっている。多様な性を尊重し、男女だけではなく、より包括的な内容を反映した条例を整えるには、更なる社会全体の意識の向上や醸成が必要なので、まずは、市民の理解を深めるための啓発活動を推進していきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 https://youtu.be/Y1J_hzHX9q0

一般質問のページは、各議員の

文責により編集されています。



田中 陽子 議員
(野々市フォーラム)

就学校の指定、区域外就学について、「自由選択制」を考える時期に来ているのではないか

義務教育期間内の通学環境は、町会等地域のコミュニティの中で世代間を超えた関わり合いが基盤と考えている

- Q** 通学区域制度の弾力的運用について
- A** 教育部長 ● 昨年度は7校合同で、27名の申請があり、認可数については、特別な措置のため回答は控えます。過去10年について、339名の申請があり、途中転居に伴う理由が8割を占めております。
- Q** 保護者や児童生徒に学び舎を「自由選択」できるという環境を整える事が諸課題解決に大きく寄与すると考えるが所見を伺う。
- A** 教育長 ● 本市においては、少なくとも義務教育期間内においては、地域コミュニティの中の通学環境を前提として考えており、「市内小中学校の自由選択」については今後、丁寧かつ慎重に研究していきたい。
- Q** 入札参加資格実態調査について
- A** 入札参加資格実態調査について、これまでに実施したこと

- Q** 入札参加資格実態調査について
- A** 入札参加資格実態調査について、これまでに実施したこと
- Q** 市長は来年どのような一年にしたいのか、重点的に取り組む内容について伺う
- A** 市長 ● 第二次総合計画を着実に進めることが重要であると考えている。
- Q** 市長は来年どのような一年にしたいのか、重点的に取り組む内容について伺う
- A** 市長 ● 第二次総合計画を着実に進めることが重要であると考えている。

- Q** 児童数が増加している。北部にもう一校小学校が必要であると声が上がっている。校区の見直しと合わせて見解を伺う。
- A** 市長 ● 野々市小学校の児童数は、令和6年度をピークに減少傾向に転じる見込みとなっている。従って、直ちに新しい小学校の建設や校区の見直しをしなければならない状況ではないと考えている。
- Q** 野々市市男女共同参画推進条例について
- A** 市長 ● 約20年前に作られた条例であり、女性と男性に加えて、多様な性を含めた題名の変更及び、条文の修正の時期にきていると考えるがいかがか。
- A** 市長 ● 現代社会において、多様な性を重視し、包括的な共同参画を推進することは、避けて通れない課題となっている。多様な性を尊重し、男女だけではなく、より包括的な内容を反映した条例を整えるには、更なる社会全体の意識の向上や醸成が必要なので、まずは、市民の理解を深めるための啓発活動を推進していきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/SDZQFRl09mw>

一般質問のページは、各議員の

文責により編集されています。



畠中 勝己 議員
(野々市フォーラム)

歩車分離式交差点の効果を問う 住宅街の小さな公園の管理について

住民の不満解消に対策を講ずる 公園・緑地の適正な維持管理に努める

A 総務部長 ●三納交差点は、地域の住民の方々や学校等からのご要望を受け、令和三年三月に、歩車分離式信号機を導入する事となったが、一方で、歩車分離式信号機の導入によりまして、交差点付近の住民の方々から「渋滞を避け、住宅街を通り抜ける車両が従来より増え、児童生徒の登下校に不安を感じる」といった意見もお聞きしてお

Q 三納交差点周辺の渋滞により住宅街を通行する車両が多くなり地域住民が不安を感じているが、市の対策に付いて伺う。

A 総務部長 ●右左折する車両と横断歩行者が交錯しないよう、歩行者と車両が通行する時間帯を分離することで、歩行者の安全を確保するという観点から有効な手段の一つではあるが、一方で、デメリットとしては、車両側の赤信号による待ち時間が長くなるため、渋滞が発生するケースも指摘されている

Q 歩車分離式信号機に変更した交差点の効果について、見解を伺う。

歩車分離式信号機のメリット・デメリットについて

A 建設部長 ●市内には百三十ヶ所の公園・緑地があり、日常的な巡回は、職員を含め、シルバー人材センターへ巡回業務を委託している。また、小規模な九十二ヶ所の公園・緑地については、四十の町内会へ巡視業務を委託している。この委託業務の中で、樹木の枝が道路や敷地外にはみ出しているなどの状況が有った場合、市に連絡をいただき、職員が速やかに現地確認に行っているところであり、維持管理に付いては、危険度の高いものから優先的に取り組むなど、適宜対応している。

Q 住宅街の中にある小さな公園の管理体制についてどのようになっているのか伺う。

市内の公園における定期的な巡回や伐採、並びに遊具の整備計画について

市としては、警察など関係機関と連携し、三納交差点の渋滞状況や交差点付近における生活道路への流入状況など交通実態を把握して、地域住民の不安解消につながるよう対策を講じる。



A 市長 ●市内百三十ヶ所の公園・緑地のうち、七十七ヶ所、百九十七基の遊具が設置されており、これらは都市公園法に基づき、年一回、専門業者による点検を行っている。点検業務の結果、遊具の老朽化や部材の劣化などにより、このまま使用する事が危険であると判断された場合には、使用禁止の措置を行っている。

Q 住老朽化した公園内の遊具について、今後の計画や考え方について伺う。

A 市長 ●市内百三十ヶ所の公園・緑地のうち、七十七ヶ所、百九十七基の遊具が設置されており、これらは都市公園法に基づき、年一回、専門業者による点検を行っている。点検業務の結果、遊具の老朽化や部材の劣化などにより、このまま使用する事が危険であると判断された場合には、使用禁止の措置を行っている。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/G5ozLlh2xuc>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員
(日本共産党)

ため込みすぎの介護給付費準備基金は 保険料軽減に使うのが制度の趣旨

必要以上に基金を保有することは適切でなく、介護保険運営協議会で協議したい

Q 学校体育館のエアコン設置は待ったなしとなっている。また、一番新しい野々市小学校体育館は断熱構造でエアコン設置は可能ではないか。可能性を調査するよう求めたい。

学校体育館にエアコン設置をカーテンで大規模改築不要では

A 市長 ●介護給付費準備基金を必要以上に保有することが、適切とは考えていない。介護保険運営に必要な基金の保有額、また取り崩し額については、介護保険運営協議会において協議していきたい。

Q 22年度決算で、あらたに7327万8千円が介護給付費準備基金として積み立てられ、基金残高は8億3180万6千円となっている。介護保険制度は3年毎の事業計画の中で余剰金が生じた場合には基金で積み立て、給付費の不足が生じた場合には取崩して保険給付を提供することになる。同時に、必要以上の基金を保有することは被保険者から預かっている保険料の使途目的として適切ではない。次期改定時に保険料を軽減して被保険者に返すのが制度の趣旨ではないか。

Q 明倫高校生はJR野々市駅前から北部ルートの「のっティ」に乗ってフォルテ前で中央ルートに乗りたい。

A 教育長 ●国の補助金などの活用を視野に事業実施の方角で検討していきたい。野々市小学校体育館の調査も検討していきたい。

Q 明倫高校生の「のっティ」通学の利便性向上策を



写真＝野々市小学校体育館



「のっティ」に乗車待ちの明倫高校生の列
＝ JR 野々市駅前

A 市長 ●状況は私も聞いています。野々市バスに明倫高校生に格段の配慮をするようお願いしておきたい。

乗り継いで100円で学校に行けることになっているが、乗り継ぎの必要のない利便性向上策を求める。また、運転手の案内がないと北部ルートに乗り継ぎ乗車ができないように、乗り継ぎのない西部ルートがギョウギユウ詰めになっている。運転手の案内がなくても乗り継いで100円で学校まで行けるように運行事業者と、学校を通して生徒に周知できないか。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/NK0aMvssQg8>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



向田 誠市 議員
(野々市フォーラム)

今後「末松廃寺跡公園」を、どのように活用し運用していくのか、本市の方向性をしめせ

再整備の方針や活用につきましては、国や県と協議しながら、「末松廃寺跡の再整備基本計画」を策定して推し進めていく

Q 学識経験者に加え、弁護士や医者など専門家で構成する「支援チーム方式」を採用した「学校トラブル対応拠点」を市教育委員会に設置し、学校に助言したり、派遣したりすることで、これ以上、第三者調査委員会の設置が必要となるような「いじめ問題」が発生しないように提案したい。

A 教育長 ● 今年度、教育委員会では、学校で発生する諸問題についての報告や相談を受けた際に、内容を精査した上で、その必要があれば、市教育委員会を通じて、弁護士に相談し、コンプライアンス遵守の観点からの適切な対応や、問題の解決に向けた助言をいただく事業を、新たに開始したところです。令和五年十一月九日の文部科学省事務連絡において、「教育行政に係る法務相談体制の整備等に関する調査」の結果が公表されましたが、スクールロイヤーに対する法務相談へのニーズの高まりは、今後さらに顕著になるのではないかと思っています。教育委員会では、弁護士に加え、医師や臨床心理士といった専門的な

本市教育関係に関する件

Q 厚生労働省の調査で、妊婦の四分の一が自治体をまたいで「里帰り出産」をされていることで、不安を抱えての「里帰り出産」と思われるので、他市町村に在住で、本市の親もとで出産される妊婦の皆さんに、出産費用等を含め、どのような手助けができるのかを検討していただきたいと思います。

A 市長 ● 出産費用については、健康保険の出産一時金の対象となっていますので、里帰り先からも申請できます。また、妊娠期と出産後にそれぞれ五万円が給付される「出産・子育て応援給付金」については、住所地の自治体に申請することで給付を受けられます。また、石川県助産師会の助産師が、電話やメール、訪問等で、出産に関する様々な相談対応や、県内の産科医療機関・市町相談窓口に関する情報提供をお

少子化・子育て環境に関する件

Q 本市において、少しでも障害者の皆さんの手助けになるよう「アート作品展」を企画しては如何か。

A 市長 ● 国民文化祭の「みんなのアート展」に続き、今後も、障害のある方の、地域理解の促進に取り組み市内の障害福祉サービス事業所や市民活動団体の皆様と連携しながら、市美術展にパラアート部門を新設して、障害者アートの普及を支援し、また、障害のある方の創作活動を後押しする方策についても、障害福祉サービス事業者の方と一緒に、検討して行きたいと思っています。

いしかわ百万石文化祭2023



木谷 直子 議員
(公明)

带状疱疹にはワクチンが有効である高額なワクチン費用の助成をするべき

国で継続的な議論が行われているのでまずは、その動向を注視していきたい

Q 市内小中学校では、全校に図書館司書を配置し、図書標準の達成、新聞の複数配置など良い読書環境を整えているが、廃棄・更新はどのような判断で行っているのか。

A 教育部長 ● 廃棄基準については、学校図書協議会の基準を参考にしている。各学校の司書が、毎月一回定期的に意見交流を行っており、各学校の図書教諭等と相談したり、司書同士が情報交換をしながら、適切に本の選定・更新を進めている。

Q 国の図書購入費としての財政措置が、十分に活用されていない自治体もある。野々市の予算額と比較したところ、86.7%と良好な結果であった。しかし、学校間のバラつきをなくし、良い読書環境を持続させていくためには、選定・廃棄基準を策定すべきであり、それに基づいた予算の確保も必要である。

A 教育部長 ● 現在のところ、選定・廃棄基準の明文化は必要ないと考える。理由として、本市小

学校図書館の充実について

Q 65歳以上の一人暮らしは急増しており、2040年には高齢者男性の5人に1人、女性の4人に1人が独居の状況になると予測されている。終活情報登録伝達事業などの終活支援を行い、単身高齢者の尊厳を守り安心を届けられないか。

Q 単身高齢者の終活支援について

	国の財政措置に対する予算割合
野々市小	89.3%
御園小	85.5%
菅原小	98.3%
富陽小	72.0%
館野小	110.6%
野々市中	79.4%
布水中	88.7%
平均	86.7%

中学校の蔵書率はH28年から継続して100%を達成しており、図書設備の予算措置も継続して行っている。また、H12年から司書免許所有の司書を専任で配置するなど、図書館教育の充実に注力してきた。各校の司書は毎月一回、生涯学習課やカレードの職員、明倫高校の司書で構成している司書部会に参加し、図書館経営などを学びあっており、学校図書館の利用促進とその充実に向け、業務に取り組んでいる。

带状疱疹について

Q 带状疱疹に関する正しい情報を、広く市民に提供せよ。

A 健康福祉部次長 ● 市のホームページ等を通じて、広く周知し、正しい知識の普及に努める。

※医療機関により費用に違いがあります

○生ワクチン 約1万円×1回
予防効果 約50%

○不活化ワクチン 約2万円×2回
予防効果 90%以上

市でも、一人暮らし等の高齢者登録では、緊急連絡先やかかりつけ医の情報を登録している。個別の困りごととは無料法律相談を活用して欲しい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/6X77EEbVUhm>



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/ZAn-Jrn60no>

一般質問のページは、各議員の

文責により編集されています。

視察報告

（◎は委員長、○は副委員長）

総務産業常任委員会

日程：10月4日から6日まで
参加者：◎小堀、○畠中、三納、西村、朝倉、中村義彦、岩見、北村
滋賀県東近江市：中心市街地活性化基本計画

八日市駅周辺での「中心市街地活性化基本計画」で賑わいのある持続可能なまちづくり、駅から市役所までをグリーンロードとして整備し、まちの景観も配慮しています。

駅隣りに官民連携の複合ビルを建設し、下層階を市・商工会が活用し、上層階は分譲マンションとして活用し、まちの活性化に寄与しています。
愛知県刈谷市：刈谷市駅周辺における再開発事業・刈谷駅周辺のにぎわい創出

駅周辺の市街地再開発事業で、自治体主導ではなく、民間のアイデアを最大限活用して再開発事業を行うにあたり、地権者の合意と理解を得ながら工事を行い、短期間で完成させ、市の負担金の軽減、そして高層マンション化により住宅の供給に關与しています。

静岡県湖西市：いけふのこ

市制施行50周年記念式典におい

て、5月31日を「こさいの日」とする宣言を行い、市全体でイベント等を行い、まちの活性化に力を入れています。

また、市のキャラクターとして「うなぼん」を誕生させ、市全体のイメージアップに取り組んでいます。

静岡県地震防災センター：ふじのくに防災シアター・地震津波ゾーン・風水害ゾーンの見学等

既存のセンターを分かりやすくリニューアルし、「知る・備える・行動する」をテーマに多くの市民に分かりやすく学べる場所となり、小学生たちには、当センターで半日程度の実習や説明を受けて、希望者には「ジュニア防災士」を認定し、子どもたちに達成感を与えています。



視察報告

（◎は委員長、○は副委員長）

議会運営委員会

日程：10月16日から18日まで
参加者：◎中村義彦、○安原、向田、小堀、西村、北村
議員報酬と定数の改定・議会と語る会

長野県佐久市議会では、広く人材を求めるために報酬を整える必要があり、市長に特別職報酬審議会の開催を申し出、4回の審議会開催の結果、報酬の引き上げが答申されたが、議会において議員定数の削減を検討されたしとの付帯意見が出され、定数削減の検討をした結果、2人減の24人としたことです。また、議会と語ろう会では、令和4年度から議会報告会、意見交換会を同時に実施し、常任委員会等の資料の配布やフリートークで出された意見を市民と議会で共有することとした。

議員報酬の見直しの経緯と取組

長野県御代田町では町長、非常勤特別職、議員の報酬の試算を出し、全国や県内の類似団体との比較や、議員数と人口の推移を示した資料を特別職報酬等審議会に提出し、町長、非常勤特別職、議員の報酬を引き上げる答申が出され、同時に改定を

行ったそつです。

市議会議員選挙の課題等特別委員会の取組

長野県須坂市では平成31年1月の市議会議員選挙において市制施行以来初の無投票となり、市議会議員に立候補しやすい環境作り、市議会に対する市民の関心を高める方策、その他諸課題について調査研究することとを目的に、市議会議員選挙の課題等検討特別委員会を設置した。結論や方向性を出すことにこだわらず自由闊達に議論をしているそつです。

55歳以下の議員報酬引き上げ・住民と議会の対話の場所（山彦）の開設

長野県生坂村では、村議会始まって以来の定数割れ選挙になり平成29年8月に議会改革検討委員会を立ち上げ若者の立候補を促す目的で55歳以下の議員報酬を引き上げる条例を制定した結果、3名の対象者が立候補し、当選しました。しかしその内の一人が不祥事で検挙され、また別の一人も自己都合により辞職してしまい議員の資質の問題が浮上し現在その取り組みを行っているそつです。また「山彦」については少人数での対話も大事にしているそつです。

教育福祉常任委員会

日程：11月15日から17日まで
参加者：○田中、中村和流、木谷、梅野、安原、西本

兵庫県小野市：夢と希望の教育について

基本理念「国際社会の中でたくましく活躍できる心豊かで自立した人づくり」を実践するために教育に重点を置き脳科学に基づいた重点施策を立上げた。東北大学教授の川島隆太氏が小野市教育行政顧問に就いてから始まった小野市の教育はスタートから18年経過し、成功事例として魅力的で羨ましい限りである。



兵庫県加西市：子育て支援の取組について

昭和63年をピークに人口減少が続き、少子高齢化が進んでいくと予想されることから、定住促進のため結婚支援、妊娠、出産支援、子育て支

援における5つの無料化の事業を行っている。特に無料化したオムツ等の配送は子育て経験者が担当し、子育ての相談等地域の見守りも兼ねられており心強い支援であり本市も見習いたい支援だと思つ。

兵庫県加東市：高齢者福祉及び障がい者福祉サービスについて

「認知症になっても笑顔で暮らせる町をつくろう宣言」を作成し「ひとり外出見守り・SNSネットワーク」の取組により行方不明者発生時に早期発見に繋がる仕組みが作られ地域に安心感を与えていた。また、2014年に手話言語条例が制定され、手話言語に対する熱意が市全体に表れていた。

兵庫県川西市：子どもの人権オンブズパーソンについて

1995年度に市教育委員会が「子どもの人権と教育」検討委員会を設置したこと始まり、これまでの処理状況を見ると、家庭問題、学級崩壊、体罰問題等いじめや不登校という一言で済まない案件にその都度対応されていた。子どもたちが何を訴えているのかを細かく聞き取ることが何より大切であると改めて感じた。

などがあつた。

スポーツ施設等特別委員会

日程：11月9日から10日まで
参加者：◎朝倉、○木谷、三納、中村和流、畠中、中村義彦、岩見
愛知県春日井市：朝宮公園

サッカーコート等を含む陸上競技場・多目的広場・野球場・テニスコート・遊具広場を備え、屋外スポーツの拠点となっている。

運営は、従来方式＋指定管理としており、既存の市内スポーツ施設と共にスポーツふれあい財団に管理委託した。その理由として、民間事業者の場合、経営方針や料金が変動する可能性があり、長期にわたり市民に親しまれ利用しやすい施設とするため、利用者目線での料金設定や、安定的な管理運営が重要と考えた。

防災公園としては、一時避難所と位置付けたため、防災倉庫のみ設置し、井戸やかまどベンチの設置は取りやめた。本市においても、使用目的に適した施設づくりの重要性が示唆された。

課題として、イベント時などに駐車場がかなり不足すること、現在、駐車料金は無料だが、安定経営のためには、有料化も検討が必要なこと



滋賀県彦根市：プロシードアリーナHIKONE

メインアリーナ・サブアリーナ・ダンス室・多目的ホール・交流ラウンジなどがあり、スポーツと文化が融合した、新しい施設である。

運営は、従来方式＋指定管理で、ミズノ株式会社が行っている。スポーツ協会が他の施設で行っていた企画も指定管理者に変更し、数多くの教室等が開催され、市民に利用されている。

災害時の物資の配送拠点であるとともに、一時避難所として、施設内と駐車場を合わせて3,000人の受け入れと、指定避難所として、メインアリーナに1,100の受け入れを想定している。そのため、太陽光や非常用発電施設・かまどベンチ・マンホールトイレなどを設置した。

初めて開催します！

議会報告会

～もっと知って！野々市市議会～

日 時：令和6年3月31日(日) 10:00～11:30
会 場：学びの杜ののいち カレード 研修室・会議室
(野々市市太平寺四丁目 156 番地)

対 象 者：市内在住の人

報告内容：【前半】令和6年度野々市市当初予算について
【後半】常任委員会・特別委員会の活動状況について

申込方法：後日、野々市市議会ホームページでお知らせします。
野々市市議会ホームページ

<https://www.city.nonoichi.lg.jp/site/sub-gikai/>

野々市市議会
ホームページ

主 催：野々市市議会

問い合わせ：野々市市議会事務局

電話番号：076-227-6141 (直通)

メールアドレス：gikai@city.nonoichi.lg.jp

3月定例会の予定

会期：2月27日(火)～3月22日(金) (25日間)



日	月	火	水	木	金	土
2/25	2/26	2/27 午前10時～ 本会議 開会 生中継	2/28	2/29	1	2
3	4	5 午前10時～ 本会議 一般質問 生中継	6 午前10時～ 本会議 一般質問 生中継	7 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	8	9
10	11	12 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	13 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	14 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	15	16
17	18 午前10時～ 議会改革特別委員会 午後2時～ スポーツ施設等特別 委員会	19	20	21 午前10時～ 予算決算常任委員会	22 午後2時～ 本会議 閉会 生中継	23

本会議は誰でも予約なしで傍聴できます。お気軽に傍聴ください。